



コスト改善力で生き残れ！ 『積上げ型から理想追求型コストダウンへ』

日時／2018年7月17日(火) 18日(水)
10:00~17:00
会場／ 東京・平河町近辺の会議室
受講料／ 日本IE協会会員 71,280円
一般 86,400円
日本生産性本部 賛助会員 82,080円
(消費税・テキスト代を含みます)



講師
(株)MEマネジメントサービス
マネジメントコンサルタント・公認会計士
橋本 賢一 氏

どれくらいコストダウンできるかが事前にわかる

貴社のコストダウン活動は会社の利益に繋がっていますか？繋がらないとすれば以下のよう
な、心当たりはありませんか？

- ・不良・稼働ロスなどの 見える所だけしか改善対象に取り上げていない。
- ・業務上の役割や課題が曖昧なままに 思いつきの改善に終始している。
- ・改善成果の予測がないままに 積み上げ型の改善をしている。
- ・改善対象を効果の大きい順ではなく 赤字製品から選択している。
- ・量(加工)より 質(段取りのようなやり易い)工程・作業を改善対象を取り上げている。
- ・コストダウンより 設備改善・自動化することが目的になっている。

戦略的な原価革新とは、コストダウンの役割と課題を対象に、理想原価追求型のコストダウンを展開することです。「誰が、何をすれば、どれくらいコストが下がるか」が、実施前に明確になれば、ねらい通りのコストダウン成果を実現できます。原価低減から原価革新への転換こそ、グローバルな競争下の経営に求められる効率追求ではないでしょうか。経験豊富な講師が演習を交えて、詳細にわかりやすく解説します。皆さまのご参加をお待ちしております。

【 プログラム : 7月17日(火) 18日(水) 10:00~17:00 】

第1章 原価革新を実現するコストマネジメント

- | | |
|----------------------------|----------------------|
| 1-1 アウトプットを規定してからインプットを攻める | 1-2 コストは生産要素の最適組み合わせ |
| 1-3 誰がコストを下げるのか:役割の明確化 | 1-4 コストダウン効果を責任者別に測定 |

第2章 コストを見えるようにして狙いどころを絞る

- 2-1 何をすればコストが下がるか:課題の明確化
- 2-2 どれくらいコストダウンできるか
- 2-3 究極の原価=理想目標原価の追求(技術段階)
- 2-4 究極の原価=理想標準原価の追求(製造段階)

どのようなロスが見えるか

コストダウン余地分析問題

第3章 設計技術段階のコストダウン

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 3-1 技術段階のコストマネジメント:原価企画 | 3-2 設計段階の標準化がコストダウンに |
| 3-3 DSM:デザイン構造マトリックス | 3-4 DSF:加工・組み立てやすい設計 |

第4章 生産技術段階のコストダウン

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 4-1 基本機能で工程をつなぐ原則 | 4-2 デザインアプローチによるライン設計 |
| 4-3 自動化ライン設計のポイント | 4-4 過大設備にならないために |

設備能力を生かす改善

第5章 製造・管理段階のコストダウン

- | | |
|-----------------------------------|------------------|
| 5-1 製造段階のコストマネジメント:標準原価管理 | 5-3 理想標準労務費を追求する |
| 5-2 理想標準材料費を追求する | |
| 5-4 生産の4要素を管理する | |
| 5-5 コストダウンの実践活動原価革新を実現するコストマネジメント | |

原価責任問題

工数・設備効率計算

※電卓をご持参ください

講師紹介

(株)MEマネジメントサービス

マネジメントコンサルタント・公認会計士 橋本 賢一 氏



公認会計士事務所を経て、日本能率協会コンサルティングに入り、原価革新や生産性向上のコンサルタントとして活躍。1985年(株)MEマネジメントサービスを設立し、製造業を中心に、総合的コストダウンを展開し、企業の業績を革新するコンサルティング活動を中心に行う。日本国内のみならず、中国・タイ・韓国などの海外でもコンサルティング活動を中心に活躍中。

著書は『見える化でわかる限界利益と付加価値』、『間接・サービス部門の原価管理』、『見える化でわかる売り値と買い値』、『よくわかる「ムダとり」の本』共に日刊工業新聞社。『正しい意思決定のための経済性工学の本』、『よくわかる原価のしくみ』共に日本能率協会マネジメントセンターなど多数。

参加申込は

FAX (03)-3511-4069
ホームページ <http://www.j-ie.com/>

下記ご記入のうえ
このまま FAX にて
お申込みください。

参加者および派遣責任者が上記の「個人情報の取り扱いについて」に同意した上で申し込みます。

『積上げ型から理想追求型コストダウンへ』

CG17 7月17日18日開催 矢野下

■ 貴社名		■ 所在地(〒 -)	
氏名		所属/役職	
派遣責任者	フリガナ	E-mail :	TEL : FAX :
参加者(1)	フリガナ	E-mail :	TEL : FAX :
参加者(2)	フリガナ	E-mail :	TEL : FAX :
合計【 】名		参加費【 円】	

■ キャンセル規定に関して ■

申込受け後、おおよそ開催日の10日前になりましたら、参加証(集合案内)、請求書を郵送いたします。正式受付後、参加予定者のご都合が悪く出席できない場合には、代理の方にご出席をお願いします。代理の方のご出席も不可能な場合は、下記の規定により、キャンセル料を申し受けます。

【(注) ※キャンセルは、必ず E-mail、または、FAX にて、日本 IE 協会までご連絡下さい。】

- ・開催日の7日前～前々日(開催日初日を含まず起算) : 参加費の50%
- ・開催日の前日および当日 : 参加費の全額(料金のご返金はできません)

お申込・お問合せ

日本インダストリアル・エンジニアリング協会

〒102-8643 東京都千代田区平河町 2-1-12
TEL 03-3511-4062 FAX 03-3511-4069
E-mail jiie@j-ie.com <http://www.j-ie.com/>

■ 個人情報の取扱いについて ■

1. 参加申込によりご提供いただいた個人情報は、(公財)日本生産性本部の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護の徹底に努めます。なお、(公財)日本生産性本部個人情報保護方針の内容については、(公財)日本生産性本部ホームページ (<http://www.jpc-net.jp/others/kojin.joho.html>) をご参照願います。

参加されるご本人、ご連絡担当の皆様におかれましては、内容をご確認、ご理解の上、お申込いただきますようお願いいたします。

2. 個人情報は、『日本 IE 協会』の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに日本 IE 協会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内、および顧客分析・市場調査のために利用させていただきます。
3. 法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。
4. 各種ご案内の送付などを外部に委託することがありますが、委託先にはご本人、ご連絡担当者へのサービス提供に必要な個人情報だけを開示し、サービス提供以外に使用させることはありません。
5. ご本人からの求めにより、開示対象個人情報の利用目的の通知、開示、訂正、追加又は削除、利用の停止、消去及び第三者への提供の停止に応じます。この件については、日本 IE 協会(会員担当: 連絡先 TEL03-3511-4062) または (公財) 日本生産性本部総務部個人情報保護担当窓口 (TEL03-3511-4003) までお問合せください。【責任者: 個人情報保護管理者(総務部長)】
6. お申込書に個人情報を記入するか否かの判断はご本人次第ですが、必要な個人情報が不足していた場合は日本 IE 協会からのサービスの全部、または一部が受けられないことがあることをご了承願います。
7. 日本 IE 協会は、クッキー等のご本人が容易に認識できない方法によって個人情報を取得することは行っておりません。
8. 本案内記載事項の無断転載をお断りします。